



「令和5年消防統計（火災・救急・119番通報）【速報値】」の公表

令和5年中の消防統計（速報値）を取りまとめましたので、次のとおり公表します。

1 火災発生状況

火災件数は67件で、前年と比較し4件（5.6%）減少しました。

火災種別では、建物火災が33件で（49.3%）最も多く、火災による死者は6人で、うち5人が65歳以上の高齢者となっています。

ポイント

火災による死者の発生は、高齢者の割合が高くなっています。
このことから、高齢者の「逃げ遅れ」を防ぐために、「住宅用火災警報器」の更なる設置促進に取り組んでいきます。

2 救急活動状況

救急出動件数は16,094件で、前年と比較し657件（4.3%）増加し、過去最高となりました。一方で、救急活動時間は、医療機関との連携強化などの取り組みにより、119番入電から現場到着までが33秒短縮し、病院収容までは2分26秒短縮しました。

ポイント

高齢化の進展により、救急需要はますます増加することが予想されます。
このことから、医療機関との更なる連携を図りながら、より迅速な救急搬送に努めてまいります。

3 119番通報状況

119番通報件数は22,608件で、前年と比較し1,726件（8.3%）増加しました。

内訳は、「救急」が15,409件（68.2%）で最も多く、次いで「問合せ・間違い・いたずら」の5,598件（24.8%）となりました。

ポイント

近年、「問合せ・間違い・いたずら」の件数が増加しています。
このことから、市民に対する「消防テレホンガイド」や「救急電話相談（#7119）」などの各種サービス利用の周知を図っていきます。

【問い合わせ先】

- ◆予防課：24-3941（火災） ◆警防課：23-7061（救急）
- ◆指令課：22-0123（指令）